

令和7(2025)年度くらしの安心サポーター活動報告書集計結果

令和8年6月 栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課

1. くらしの安心サポーターについて

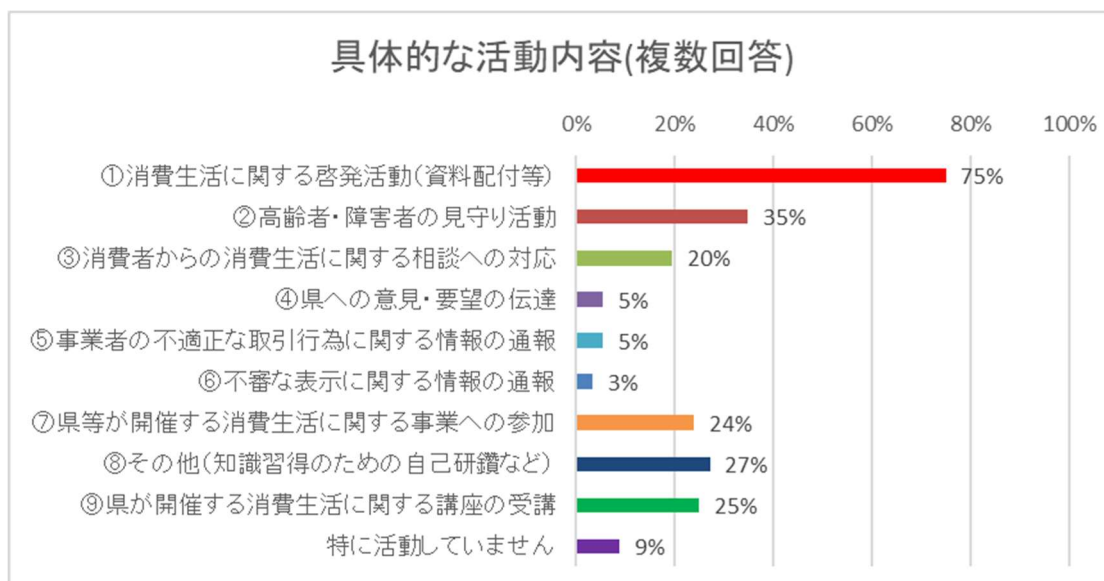
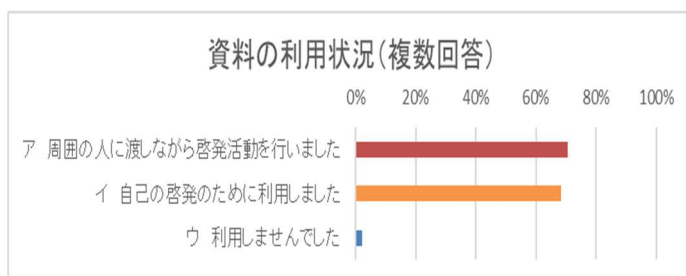
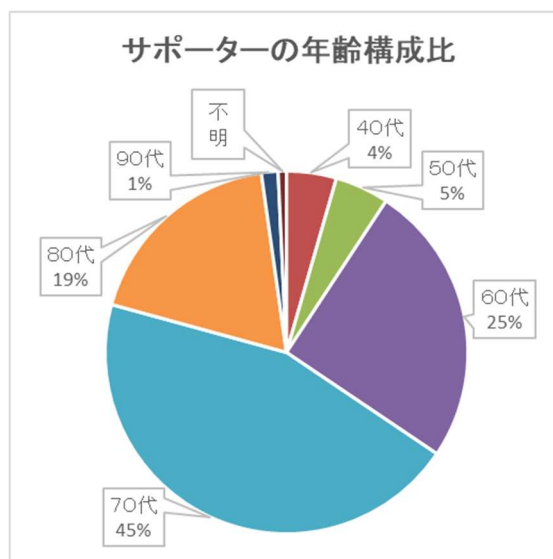
サポーターの総数は271名です。
年齢構成は右記のとおりになります。

2. 活動報告の提出数について

サポーター271名(R8.4.1現在)のうち、92名の方
から報告書をご提出いただきました。(回答率34%)

3. 昨年度の具体的な活動について

資料配付や高齢者への見守り、また消費生活に
関する相談を受けたり、自己研鑽などサポーター
の皆様の出来る事を出来る範囲で工夫しながら
行っていただいていることがうかがえます。
また、県から配布した資料もご活用いただい
ている事が分かりました。



■ 具体的な活動内容(報告書より抜粋) ■

<資料の活用例>

- 長寿会、高齢女性部交流でチラシ配付
- 県から配布された資料をもとに近隣の人への啓発
- 自治会9町会長より各班内に「見守り新鮮情報」を回覧し注意喚起
- 商業施設でのチラシ配りに参加

<啓発活動例>

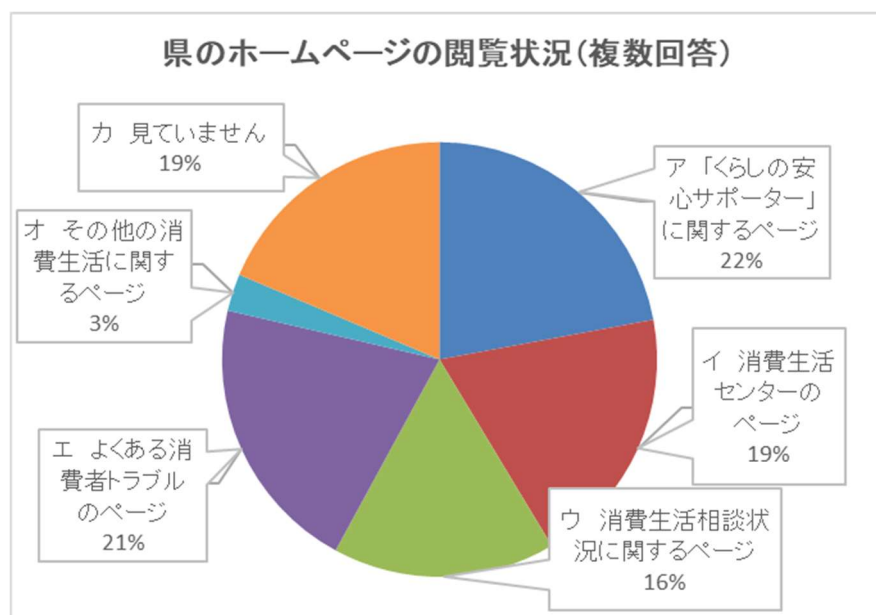
- 地域開催の文化祭においてコーナーを設け、紙芝居やクイズ方式による啓発活動を行った
- 県消費生活リーダー連絡協議会のメンバーとして寸劇を行った
- 身近な高齢者への声かけ、消費生活の相談(困りごと)がないか気をつけて会話をすすめた

<その他>

- 国民生活センターHP でトラブル記事を読み、参考にしている
- 自治会に出向いて相談に対応している
- 地域での相談を消費生活センターへ繋ぐ

4. 栃木県のホームページの閲覧状況（複数回答）

ご回答いただいた皆様は「くらしの安心サポーター」「消費生活センター」「消費生活相談状況」「よくある消費トラブル」のそれぞれのページをまんべんなくご覧いただいている様子が分かりました。また、一昨年度は「見ていません」との回答が37%だったのに対し、昨年度は19%と減少しているのが分かりました。皆様が一昨年度に比べ積極的にホームページを閲覧し、活動に役立ててくださっていることが表れています。



5. 目にしたことのある媒体「アンケート」（複数回答）

会員の皆様は、県のホームページを閲覧してくださる方が増えてきましたが、引き続き県の広報誌やチラシ・ポスター、新聞など紙の媒体もよく目にしています。

